

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

4-6月期の実質 GDP 成長率は前年比+0.6%と、前期（1-3月期）の同▲5.8%から改善し、2018年1-3月期以来のプラスとなった（第1図）。ただし、前期比ベースの成長率は▲0.3%と6四半期連続のマイナスとなり、前期の同▲0.0%からマイナス幅は拡大している。需要項目別にみると、個人消費（前年比▲7.0%、前期比横ばい）と総固定資本形成（同▲18.0%、同+1.5%）は引き続き減少した一方、内需の低迷を映じた輸入の減少に加え、歴史的な干ばつで穀物生産が低迷した昨年からの反動により輸出が同+15.0%と急増したことを背景に、純輸出の寄与度は同+9.4%ポイントと前期（同+8.2%ポイント）から拡大した。

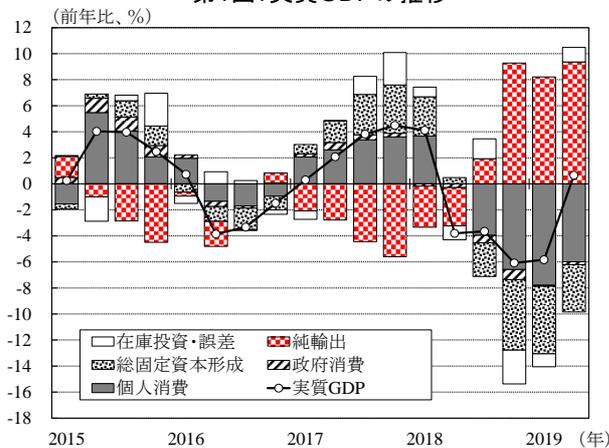
先行きについては、経済の低迷に政治面の不透明感の高まりも加わり依然楽観視できない。8月11日の大統領選・予備選挙で現職のマクリ大統領が、ポピュリズム色が強い左派候補のアルベルト・フェルナンデス元首相に約15ポイントの大差をつけられたことで、10月27日の本選で左派色の強い政権が誕生するとの観測が高まった。その結果、IMFからの追加融資が受けられなくなる等の予測からデフォルト懸念が強まり、大幅な通貨安を招いている。こうした事態に対して、政府は8月末に機関投資家に対する短期国債の償還期限延長を発表し、9月以降は時限的な外貨取引規制を導入する等の措置を講じているが、大手格付け機関は同国の国債を格下げするなど、デフォルト懸念は和らいでいない。スタグフレーションと通貨危機が併発している同国の経済は厳しい状況が続くだろう。

2. 物価・雇用

物価：8月の消費者物価上昇率は前年比+54.5%と、依然高水準の状態が続いている。

失業率：4-6月期の失業率は10.6%と、昨年後半から一段と悪化している（第2図）。

第1図：実質GDPの推移



第2図：失業率の推移

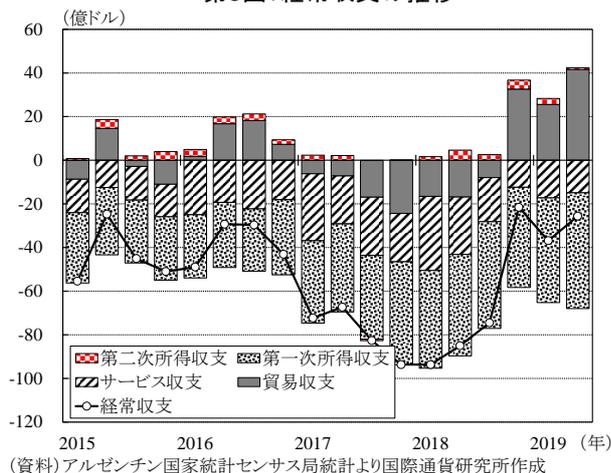


3. 経常収支、外貨準備高

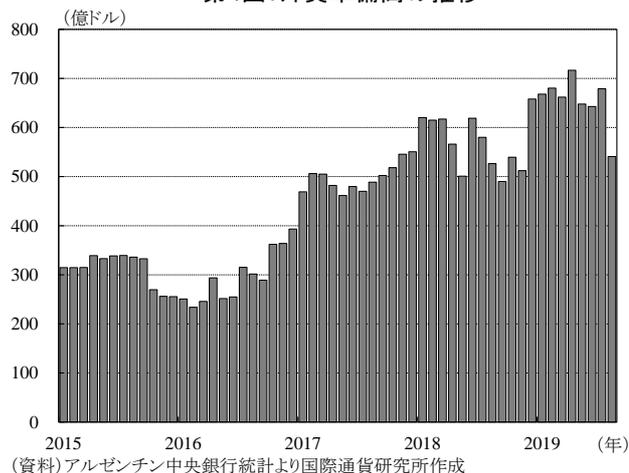
経常収支：4-6月期の経常収支は26億ドルの赤字と、前期の37億ドルの赤字から赤字幅が縮小した（第3図）。前述の通り、輸入の減少と輸出の急増を背景に、貿易黒字が前期の26億ドルから42億ドルへと拡大したことが要因である。

外貨準備高：通貨危機を食い止めるために中央銀行がドル売りペソ買い介入を実施した影響で、8月末の外貨準備高は541億ドルと前月比▲20%の急減となった（第4図）。

第3図：経常収支の推移



第4図：外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：デフォルト懸念が強まる中、中央銀行による買い支え介入にもかかわらずペソ相場は下落を続け、足元では1ドル57.6ペソで推移している（第5図）。

株価：メルバル指数は、7月11日には過去最高値の42,856.29ポイントを記録したが、デフォルト懸念が強まる中で大幅に切り下がり、足元では3万ポイント付近で推移している（第6図）。

第5図：アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図：株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	2.7%	▲2.1%	2.7%	▲2.5%
鉱工業活動指数(前年比)	0.1%	▲4.5%	2.5%	▲4.6%
建設活動指数(前年比)	-	▲13.8%	13.5%	1.9%
自動車生産台数(千台)	527	473	472	467
自動車販売台数(千台)	587	721	884	682
失業率(年末期)	-	7.6%	7.2%	9.1%
消費者信頼感指数	54.6	45.2	45.6	37.7
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	-	-	24.8%	47.6%
(年平均)	27.7%	40.7%	28.6%	36.3%
輸出(FOB)(億ドル)	568	579	586	616
(前年比)	▲17.0%	2.0%	1.2%	5.1%
輸入(CIF)(億ドル)	602	559	669	654
(前年比)	▲8.4%	▲7.2%	19.8%	▲2.2%
貿易収支(億ドル)	▲34	21	▲83	▲38
対外準備(億ドル)(年末)	256	393	551	658
ベースマネー(億ペソ)(年末)	6,239	8,217	10,011	14,090
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	8,583	11,246	17,012	24,383
(前年比)	35.6%	31.0%	51.3%	43.3%
経常収支(億ドル)	▲176	▲151	▲316	▲275
株価指数(メルバル指数)(年末)	11,675	16,918	30,066	30,293
対米ドル為替相場(年末)	12.95	15.83	18.83	37.66

2. 月次

	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実質GDP成長率(前年比)	┌	▲5.8%	┌	┌	0.6%	┌	┌	-	┌
鉱工業活動指数(前年比)	▲11.1%	▲8.4%	▲14.1%	▲8.9%	▲6.9%	▲7.2%	▲1.9%	-	-
建設活動指数(前年比)	▲15.7%	▲5.3%	▲12.3%	▲7.5%	▲3.5%	▲11.8%	▲1.7%	-	-
自動車生産台数(千台)	15	34	29	30	30	24	22	31	-
自動車販売台数(千台)	30	30	34	28	28	37	39	38	-
失業率	┌	10.1%	┌	┌	10.6%	┌	┌	-	┌
消費者信頼感指数	33.1	36.0	34.8	34.4	36.5	40.6	44.2	41.9	42.1
消費者物価上昇率(前年比) INDEC	49.3%	51.3%	54.7%	55.8%	57.3%	55.8%	54.4%	54.5%	-
輸出(FOB)(億ドル)	46	45	51	53	60	52	59	56	-
(前年比)	▲4.7%	3.7%	▲5.0%	1.9%	16.5%	1.9%	8.3%	7.5%	-
輸入(CIF)(億ドル)	42	40	40	42	46	42	49	44	-
(前年比)	▲26.5%	▲22.9%	▲33.7%	▲31.6%	▲28.0%	▲23.5%	▲20.6%	▲30.3%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	4	5	12	11	14	11	10	12	-
対外準備(億ドル)	668	680	662	717	648	643	679	541	-
ベースマネー(億ペソ)	13,528	14,031	13,515	14,029	13,565	13,758	13,393	12,962	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	23,095	23,370	24,383	24,701	24,836	24,677	25,242	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲36.85	┌	┌	▲25.61	┌	┌	-	┌
株価指数(メルバル指数)(月末)	36,327	34,486	33,466	29,571	33,950	41,796	42,058	24,609	29,067
対米ドル為替相場(月末)	37.02	39.02	43.41	44.03	44.83	42.38	43.82	59.12	57.59

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 石丸 康宏 yasuhiro_ishimaru@iima.or.jp
戸松 篤志 atsushi_tomatsu@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。